

# 理事会報告

Aの定める10%を達成することが出来ましたが、JAの体力を高めるためには、さらなる財務の健全化に取り組んで参らなければなりません。今後とも内部留保を優先し、自己資本造成に取り組んで参ります。

昨年開催された「第26回JA北海道大会」では、「北海道農業の潜在能力のフル発揮への挑戦」と「協同と信頼の絆で築く新時代のJA」の決議がなされました。この決議事項は、向こう3カ年における北海道農業及びJAが取り組むべき指針であり、今後、実践に向けた取り組みを進めて参ります。

また、当地域農業の活性化と経営の安定化を図るため「改革と豊かな農業をめざして」をスローガンに新たな「JAしずない農業振興5カ年計画」を策定致しました。特に農業の担い手対策では、農業者の高齢化・後継者不足により、農業者人口は大幅に減っており、農業者の確保は喫緊の課題であります。このことから町・地域の指導農業者と連携し、農業者の確保に向けた取り組みを進めて参ります。」と述べました。

議長には、有田英二氏、見上久義氏が選任され、定款の一部変更等上程された全6議案が原案通りに可決されました。

## 12月理事会 (25日)

- 1、対策農家等の長期資金(借換資金)の貸付について
- 2、長期資金の貸付について
- 3、理事者に対する短期資金の貸付および平成22年クミカン取引について
- 4、共済規程の一部変更について
- 5、固定資産の取得について
- 6、農業振興5カ年計画書(案)について

## 1月理事会 (15日)

- 1、「金融円滑化にかかる基本方針」の制定について
- 2、規程の変更について
- 3、資産査定基準の見直しについて
- 4、平成22年度基本方針と重点実施事項について
- 5、平成22年度借入金金の最高限度額について
- 6、平成22年度貸付金利率の最高限度について
- 7、平成22年度信用供与等の最高限度額について

- 8、平成22年度理事者に対する貯金担保貸付及び共済担保貸付の具体的包括承認について

## 1月理事会 (28日)

- 1、規程の変更について
- 2、JASTEM次期システムにかかる危機管理計画書等の制定について
- 3、平成21年度決算見込みについて
- 4、固定資産減損会計について

## 2月理事会 (24日)

- 1、長期資金の貸付について
- 2、平成21年度事業報告及び未処分利益剰余金の処分(案)
- 3、繰延税金資産の回収可能性について
- 4、税効果積立金の取崩しについて
- 5、平成21年度の自己査定結果について
- 6、販売手数料の改定について
- 7、平成22年度事業計画(案)の設定について
- 8、平成22年度固定資産の取得(案)について
- 9、平成22年度役員報酬について
- 10、平成22年度職員の定員及び職員給与の改正(案)について

## 3月理事会 (24日)

- 11、平成22年度余裕金の預入先について
- 12、債務保証委託申込に伴う出資増口(外部出資)について
- 13、平成21年度内部監査結果報告および平成22年度内部監査計画について
- 14、平成22年度コンプライアンスプログラム計画について
- 15、平成21年度馬産地再活性化緊急対策事業リリースについて
- 1、平成21年度決算監査の実施結果について
- 2、定款等の変更について
- 3、平成22年度における株式会社株式取得又は法人もしくは団体に対する出資・出えんについて
- 4、第62回通常総会議案(決算関係書類及び部門別損益計算書)について
- 5、第62回通常総会招集通知について